

討議資料



ようすけ通信

Yosuke

News

[発行] 上野ようすけ連合後援会 帯広市西6条南16丁目11 tel 0155-67-6725 fax 0155-23-2120

<http://www.uenoyosuke.net> mail : info@uenoyosuke.net

後援会通信の創刊にゆせて

上野 ようすけ

このたび、上野ようすけ連合後援会会員の皆様に私の政治に対する熱い想いをご理解いただきたく、「ようすけ通信」を創刊させていただくこととなりました。

私は、議員秘書になる前、東京の専門書出版社で編集者の仕事を15年しておりました。数多くの書籍を企画・担当しましたので、書籍やこういった媒体の持つ「発信力」の大切さを誰よりも身近に感じております。

私が今、志している政治の世界も、政治家自身の「発信力」が必要不可欠と考えております。

今、時代は人口減少社会となりました。

その地域の力の源である「人」が減るという自体をどのように受け止め、それをどう補うのか。これは、政治にとつても、経済にとつても、生活にとつても非常に重要な問題です。しかし、十数年前から指摘されているこの問題に対し、政治は長きにわたり有効な解決策を示すことができなかったのではないのでしょうか。強い意志をもってメッセージを発信する政治家もあまりいらっしゃいませんでした。

もし、政治に発信力がもつとあったならば、人口減少問題は早い段階でクローズアップされることとなり、ここまで放置されることはなかったのではないかと考えております。

新しい政治は新しい力で。その「力」の一つは「発信力」

です。今後、私が目指す北海道、帯広、十勝の姿、様々な政治課題に対する私の考えを、この「ようすけ通信」あるいはホームページ等を通じて皆様のもとへお届けし、そして、皆様からのご意見を頂戴してまいりたいと考えております。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十七年一月 上野ようすけ



**上野ようすけ
公式ホームページが
公開されました!**

政治家の大切な力である「発信力」。そのため大切なツールの一つである「上野ようすけ公式ホームページ」が公開されました。

ぜひご覧ください!

<http://www.uenoyosuke.net>

私の約束

道民一人ひとりの生活に寄り合い、具体的な声を聴き、道民目線に立った政策で、「自立する北海道」を目指します

北海道の抱える大きな課題

人口減少・超高齢化社会

に、対応するために

◎地域の活力をどう作るのか

- 中小・零細企業振興策
- 女性の声を活かした女性政策
- 若者の力を都会から地方へ
- 子どもたちの利益となる教育政策
- ...

◎支え合う地域作りをどう進めるか

- 医療・福祉連携(地域包括ケアシステム)の構築
- 障がい者支援、生活自立支援、発達障がい支援等
- 地域コミュニティの活性化
- ...

◎北海道の「今」の強みをどう伸ばすのか

- 持続可能な農林水産業
- 地域経済を支える観光政策
- ...

◎北海道の「新しい」強みをどう作るのか

- 新しいエネルギーの研究と開発
- 大学・研究機関との連携による最先端技術
- ...

これらの取り組みを支えるのが安全・安心、そして信頼

◎暮らしに「安全・安心」を、政治に「信頼」を

- 防災・減災対策
- 行政・政治改革
- 安全保障政策
- インフラ整備・老朽化対策
- 防犯対策

——「自立する北海道」をつくるための重点政策——

地域の活力をどう作るか

●北海道経済を支える「中小・零細企業振興政策」

- 中小・零細企業の持続可能性を高めるため、地域人材バンクによる担い手確保、ものづくり支援、販路拡大、海外展開、資金援助など支援プログラムを充実させ、周知し、利用度を高めます。
- 公共事業予算を安定的、持続的に確保するとともに、企業の人材確保を支えます。
- 建設技能を継承する後継者育成をサポートします。
- 中小・零細企業に大きな打撃を与える外形標準課税の拡大適用に反対します。

●一人ひとりが輝き、独自の魅力あふれる北海道

- 人口減少問題を正面から受け止め、出生率の低下を防ぐための子育て支援策、定住・移住支援策を実行します。
- 女性が家庭、職場、地域社会で力を発揮できるよう、女性の声を聴き、「声」を「政策」へと結びつけます。
- 空き家バンク、雇用・就業マッチング、IターンUターン支援等により、若者たちを都会から地域へと導きます。
- 帯広市の中心市街地活性化のため、空地利用、移転など高度な土地利用を進め、まちのにぎわい作りに努めます。
- 「就職は北海道内」等の条件付き給付型奨学金を拡充し、「若者の学びの機会を、地域には人材を」の流れを作ります。

支え合う地域作りをどう進めるか

●地域社会を支える「医療・福祉・教育政策」

- 医療と介護の切れ目のないよう、医療(医・歯・薬)、福祉、住まい、行政サービスの連携を深めた地域包括ケアシステムを速やかに構築します。
- 認知症対策を充実し、早期発見から治療まで医療と介護の連携を強化します。
- 地域の医療・福祉を支える人材を育成する場の新設を目指すとともに、福祉現場で働く人々の待遇改善につとめます。
- 障がい者雇用・就業支援策・発達障がい支援策等を通じ、子どもからお年寄りまで誰もが地域と一体となって暮らせる社会を作ります。
- 商店街の空き店舗を子育て・医療・高齢者交流施設として活用し、地域コミュニティとして活性化させます。
- 幼少時の教育・保育の重要性を的確に行政に伝え、幼児教育無償化の着実な推進、潜在的な待機児童に対応する施設整備、職員の待遇改善等に努力します。
- 学校・家庭・地域・行政が一体となった子どもたちの学力・体力の向上策、「早寝、早起き、朝ごはん」など生活習慣の定着策を推進します。

北海道の「今」の強みをどう伸ばすのか

●日本の食を支え、世界を牽引する「農林水産業」へ

- 食糧基地としての十勝の役割を道内外に示すため、生産、加工、備蓄(保管)、流通(物流)をベストミックスした食糧備蓄基地を十勝に作ります。
- 自給率・自給力の向上、ブランド化、品種改良、IT化等を進め、新しい農業モデルを作ります。
- 安心・安全でそして美味しい十勝の農産物や加工品、高い農業技術をアジアへつなぎます。
- 各産業の連携による6次産業化を進め、従事者の所得向上と雇用拡大を図ります。
- 国会決議に反する内容でのTPP、その他国益に反する経済連携には「反対」します。

●「スポーツ・文化・観光政策」で地域の活性化を

- 北海道の観光予算を拡大し、北海道観光での「帯広・十勝」の立場を確立します。

- 北海道新幹線開業の効果を東北道にも波及させるため、根釧、オホーツクとの連携を進めます。
- モール泉を十勝観光の中軸に置き、ばんえい、ガーデン、「農」と「食」等観光資源を結びつけ、ドイツのバーデン・バーデンのような滞在型観光を十勝に作ります。（「とちちバーデン&ガーデン」構想）
- 北海道・北東北の縄文文化遺跡の世界遺産登録を目指すとともに、北海道が誇るべき大自然、歴史と文化を国内外に発信します。
- 無料公衆無線 LAN、ハラル認証制度等の整備を促進し、外国人観光客への対応を高めます。
- 2020東京オリンピック・パラリンピックでの合宿誘致、2026札幌オリンピック・パラリンピックの誘致、並びに十勝での競技実施を目指し、スポーツ交流、スポーツ人口増と人材育成につなげます。

北海道の「新しい」強みをどう作るのか

- 潜在的な強みである「エネルギー」を主要産業に
 - バイオマス、地熱、風力等、北海道の特性を活かした新エネルギー研究、開発を推進し、そのノウハウを国内外へ受け継ぎます。
 - 十勝沖にあるとされるメタンハイドレートの実用化に向けた道すじ作りに力を注ぎます。
- 新しい技術と産業が、新しい十勝をつくる
 - 医療、農業、環境、宇宙など十勝管内で研究されている最先端技術への支援を充実し、その分野のリーダーたる「十勝」を目指します。

暮らしに「安全・安心」を、政治に「信頼」を

- 地震、津波、火山災害、土砂災害、風雪被害等に備えた防災・減災対策を施し、地域に根付かせる啓蒙活動を推進します。
- 首都圏経済機能の分散化の受け皿となる「バックアップ拠点構想」を推し進めます。
- 高速道路網の早期開通を実現、バス等の二次交通を整備など、緊急時にも役立つ交通網を整備します。
- 原発再稼働については、道民目線を尊重し、現在の「厳格な基準」をしっかりと遵守することを求めます。
- 日々の暮らしの安全と安定の確保のため、「北の守り」である北海道の自衛隊の現体制の堅持を求めます。
- ネット犯罪、危険ドラッグなどのような国の法整備が追いつかない新しい犯罪に対して可能な範囲で条例で対応し、地域の安全を守ります。
- 政務活動費の透明化、行政の見える化など、道民と議会・行政の距離を縮め、政治への信頼を作ります。



元帯広市議会議長 嶺野 侑

上野ようすけさんを
推薦します。

ふるさとを愛し、ふるさとの歴史を知らずして、地域おこしのアイデアはうまれません。

上野ようすけさんは、地域をよく調べ、果敢に行動し、実績を積み重ねています。

人口の減少が進み、消滅する地方自治体が予測される中、政治家に求められるものは、ようすけさんのような研究心と行動力です。

限らない郷土愛と未来への視点、恵まれない立場の人や弱者への思いやり、人間味あふれる上野ようすけさんの前途に期待が集まっています。

みなんで力を合わせ、上野ようすけさんを道政に送りましょう。